

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第12回）  
議事録

令和4年6月14日  
官邸2階大ホール

【松野内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標推進本部第12回会合を開催いたします。  
それでは、議事に入ります。

まず、持続可能な開発目標（SDGs）に関する取組状況について、滝崎内閣官房副長官補から説明をお願いします。

【滝崎内閣官房副長官補】

6月9日のSDGs推進本部幹事会の結果、本年度も「ジャパンSDGsアワード」を実施することとなりました。SDGsの実現に向けた具体的な行動変容を促す観点から、新たに「変革性」及び「連帯性と行動変容」という評価項目を加えることといたします。

2023年には、SDGs実施指針の改定を予定しています。このプロセスの一環として、SDGs推進円卓会議の民間構成員から、実施指針に関する幅広い意見交換の場として「パートナーシップ会議」を設けたいとの考えを伺っています。開催に向け調整を進め、結果は今後の推進本部においても御報告する予定です。

以上です。

【松野内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、御発言される閣僚を、順次指名させていただきます。

【林外務大臣】

最新の調査によれば、国内のSDGsの認知率は86%と、過去最高の水準となりました。SDGsの実現に向け、今後は、具体的な行動変容の促進が重要です。

本年はアフリカ開発会議や国際女性会議など、SDGsと関わる国際会議を日本が主催します。また、来年にはG7広島サミットのほか、国連では4年に1度のSDGサミットも開催されます。こうした機会も活用し、SDGs推進に関する日本の取組をしっかりと発信するとともに、SDGs達成に向けた諸外国との連携を強化していきます。

【野田国務大臣】

ジェンダー平等はSDGsの目標の一つであり、かつ全ての項目で不可欠の視点とされています。女性版骨太の方針2022に基づき、女性の経済的自立や女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた取組を政府全体で強力的に推進します。

また、子供の貧困対策を推進するとともに、SDGs未来都市の選定、複数の自治体が広域で連携して行うSDGsの取組への支援、官民連携の促進や地方創生SDGs金融表彰等の取

組を進め、SDGs を原動力とした地方創生を推進します。

#### 【金子農林水産大臣】

環境と調和の取れた持続的な食料システムを確立するため、生産から消費まで環境負荷の低減に資する取組の推進等を基本理念とする「みどりの食料システム法」を今国会において成立させました。

この法律に基づく取組を進めるほか、森林整備や木材利用などの森林吸収源対策や、海洋環境の変化も踏まえた水産資源管理の着実な実施など、今後とも、SDGs の理念を達成するため、農林水産省として引き続き積極的に貢献してまいります。

#### 【金子総務大臣】

総務省は、各府省と連携して、SDGs の進捗を測定するための指標の整備に取り組んでまいりました。その結果、248 ある指標のうち、6 割以上の指標が公表可能となりました。

我が国が官民を通じて SDGs の取組を深化させていくためには、更なる指標の整備により「見える化」を進めることが重要です。各府省におかれましては、引き続き、指標整備への御協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 【岸防衛大臣】

防衛省では、本年 3 月のシンポジウムのテーマに SDGs を取り上げ、女性活躍、気候変動問題、能力構築支援といった SDGs に資する取組について発信を行いました。

また、防衛省・自衛隊における SDGs に資する取組を全国の部隊等から募り、優良な取組を選出して、表彰することで、組織内の SDGs の啓発、普及や対外発信に積極的に取り組んでいるところです。

引き続き、SDGs に資する取組を推進してまいります。

#### 【山口環境大臣】

新しい資本主義の柱の一つが気候変動対策であり、SDGs の主要なゴールの一つである気候変動対策と経済成長の両方を実現していく日本のグランドデザインを描くことが必要です。

「脱炭素を制するものは、次の時代を制する。」、「グリーンを制するものは、世界を制する。」という気概で環境省として全力で取り組みます。まず、地域に、自立した国産の再生可能エネルギーを導入することにより脱炭素ドミノを起こしていきます。

#### 【萩生田経済産業大臣】

2050 年カーボンニュートラルを目指し、脱炭素の取組を新たな成長に繋げるため、エネルギーの安定供給を確保しながら、クリーンエネルギーを中心とした経済・社会、産業構造への転換を進めます。

ビジネスと人権について、企業の予見可能性を高める国際協調を進めつつ、ガイドラインの策定等、人権デュー・ディリジェンスの推進に取り組みます。また、先端技術を保有する民主主義国家による責任ある技術管理を実現します。

#### 【後藤厚生労働大臣】

SDGs アクションプランに基づき、新型コロナウイルスを含む感染症への対応能力を強化するため、治療薬等の開発・普及、公平なアクセスの確保に取り組みました。また、ILO 第 105 号条約の締結について、今国会でご承認いただいた他、労働者のディーセント・ワークの実現に向けた取組を進めました。

引き続き、人々の健康と暮らしを守るために必要な取組を行ってまいります。

#### 【二之湯国務大臣】

SDGs の達成に向け、防災、国土強靱化担当として、「仙台防災枠組」も踏まえた、国内外での防災・減災、国土強靱化の取組を進めます。

また、海洋政策担当として、4月のパラオでのアワオーシャン会議において、総理からビデオメッセージで発信いただいたとおり、持続可能な海洋のため、カーボンニュートラルや海洋プラスチックごみに関する大阪ブルー・オーシャン・ビジョンなどの実現に向けた取組を継続します。

#### 【末松文部科学大臣】

文部科学省としては引き続き、新型コロナウイルス感染症をはじめ様々な地球規模課題解決のため、持続可能な開発のための教育である ESD をはじめ、誰一人取り残さない教育の実現や教育の質の一層の向上を目指す等、SDGs 全ての目標に貢献する教育を推進してまいります。

また、SDGs 達成のための科学技術イノベーション、持続可能な社会に寄与するスポーツや文化の振興を推進します。

#### 【西銘復興大臣】

福島浜通り地域に新設する福島国際研究教育機構は、福島における新産業の創出及び我が国の科学技術力・産業競争力の強化により福島をはじめ東北の復興を前進させるとともに、SDGs の実現など世界共通の課題の解決にも資する研究開発等を実施します。

「創造的復興」の理念に基づき、福島において、イノベーション等を通じた持続可能な新しい地域社会モデルを実現することを目指し、引き続き全力で取り組んでまいります。

#### 【山際国務大臣】

7日に取りまとめた「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」では、市場では解決できない外部性の大きな社会的課題について、これを障害物としてではなくエネルギー源と捉え、新たな官民連携によってその解決を進め、包摂的で新たな成長を図ってい

くこととしています。こうした仕組みを経済社会の中にビルトインすることで、我が国として SDGs 達成を目指していきたいと考えています。

2030 年までの SDGs 達成に向けて、関連する取組について、関係各位と連携して進めていきたいので、よろしくお願いいたします。

#### 【若宮国務大臣】

持続可能な社会の実現に向けて、食品ロス削減等、身近なことから消費者の意識と行動の変容に取り組むほか、改正障害者差別解消法の施行準備や次期障害者基本計画の策定に向けた議論を進めます。

2025 年大阪・関西万博は、SDGs 達成に向けて進捗状況を検証し、取組を加速させる絶好の機会です。開催に係る取組を通じて SDGs の達成に貢献するとともに、更にその先の社会像を世界とともに提示してまいります。

#### 【牧島デジタル大臣】

昨年末に閣議決定した「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を、今月 7 日に改定いたしました。

本計画には、デジタル原則に照らした規制・制度の横断的見直し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すデジタル田園都市国家構想の実現、医療、教育、防災、こども等の分野のデジタル化などを盛り込んでおり、デジタルの力により、持続可能な社会基盤を構築していきます。

引き続き、デジタル・規制・行政改革を推進し、SDGs の達成に貢献してまいります。

#### 【小林国務大臣】

科学技術・イノベーションにより開発途上国等の SDGs に貢献するため、国連機関と連携し、日本企業が現地課題への理解を深め、現地のニーズに即した形で日本企業の技術を活用する課題解決の取組を進めていきます。

また、5 月に策定したグローバルヘルス戦略を踏まえ、公衆衛生危機への予防・備えや対応の強化、より強靱、公平かつ持続可能なユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成に向けて取組を関係省庁と連携して進めていきます。

#### 【津島法務副大臣】

法務省では、外国人との共生社会の実現、「司法外交」の積極的な推進、再犯防止対策の充実、虐待や差別のない社会の実現などに取り組む、ゴール 16「平和と公正をすべての人に」をはじめとする SDGs の達成を目指してまいります。

#### 【岡本財務副大臣】

財務省は、同志国や国際金融機関とも連携し、地球環境保全や質の高いインフラ投資の促進、パンデミックへの予防・備え・対応の強化や、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

の実現を推進しています。

こうした取組の一環として、昨年末に日本が主導する形で世銀グループの IDA の増資に合意し、3月に関連法が国会で成立しました。また、JBIC について、先進国での業務範囲を拡げるとともに、外為特会の資金を活用した融資制度を発展的に拡充します。

【泉田国土交通大臣政務官】

国土交通省は、交通、まちづくりのほか、本年4月に開催された「第4回アジア・太平洋水サミット」の「熊本水イニシアティブ」に基づく既存ダム の運用改善や改造など、気候変動適応・緩和に資するインフラ整備等を推進することにより、引き続き幅広い分野で SDGs の達成に貢献してまいります。

【松野内閣官房長官】

私の担当する分野に関して、国際平和協力等でも SDGs に貢献します。  
最後に、総理から御発言いただきます。

【岸田内閣総理大臣】

SDGs は、私の内閣でも重要な羅針盤です。

気候変動の問題といった経済、社会、環境の分野の課題を障害物と捉えるのではなく、成長のエンジンへと転換して持続可能な成長を実現していく。私が提唱する新しい資本主義は、正に SDGs の達成につながるものです。

このためには、従来の官民連携の在り方を超え、社会的起業家の支援やインパクト投資の推進など、幅広い関係者間での官民連携を一層深化させていくことも重要です。2023年のSDGs実施指針の改定も見据え、こうした連携を促進していきます。また、ジャパンSDGsアワードに新たな審査項目を追加し、一人ひとりの行動変容に向けた機運を高めていきます。

政府として、SDGsの達成に向け、新しい資本主義の下、誰一人取り残さない、持続可能な経済社会システムを作り上げていきます。また、コロナ後の新たな経済・社会の在り方を模索する国際社会の取組を主導してまいります。関係閣僚におかれましては、このために取組を一層強化するようお願いいたします。

【松野内閣官房長官】

それでは、以上をもって、持続可能な開発目標推進本部第12回会合を終了します。